

## 研究開発6 企業、国際機関等との連携

### 課題研究以外の研究開発3 地域や同窓会との連携

#### 1 目的と期待される効果

##### (1) 目的

グローバルな視点で社会貢献している企業や研究施設等と連携し、グローバル社会の現状や課題について講義や講演を受けることで、さまざまな社会課題について実感するとともに、グローバル社会で活躍できる人材としての在り方や生き方を知る。また、世界で活躍している人からアドバイスや指導を受ける。

##### (2) 期待される効果

グローバル社会で活躍できる人材としての在り方や生き方について考えを深めることで、グローバル・リーダーとしての資質や態度を身に付けることが期待できる。また、グローバル社会で活躍している人との交流を通して質の高い、現実味のある課題研究を行うことが期待できる。

#### 2 内容

企業等と連携し、各講座を実施する。生徒は各自の興味・関心により希望する講座に出席する。

#### 3 実施方法

学校設定科目「GLアクティブ」において行う。企業等の連携により実施した講座や企業の研究室等に訪問した生徒は、終了後、実施報告書を提出する。提出された報告書及び活動の記録等を基に学校設定科目「GLアクティブ」の評価に加える。

#### 4 検証評価方法

検証方法は、生徒及び教員に対して、取組ごとに記名式アンケートを実施し、その結果と連携した企業等からの評価をもとに検証する。

#### 5 実施内容

コロナ禍により例年実施し好評であった企画がすべて不可能になりました。よって今年度は移動リスクが低い地元企業・佐倉市役所を中心に新規に講座を設けた。

##### (A) 『地域再生プロジェクト風見鶏の里見学&意見交換会』

日時 令和2年8月6日(木) 14時00分～17時00分

場所 佐倉市吉見 風見鶏の里

対象 観光や地域興しを研究テーマとする1～2学年の希望者(参加10名)

目標 古民家リノベーションを中心に据え、地域全体を伝統的里山として再生しようという取組「風見鶏の里」を見学し、佐倉市の観光振興や地域活性化の具体例を学ぶ。

内容 佐倉市役所との情報交換の中で、株式会社オカムラホームのSDGsの取組み「風見鶏の里」での活動を知り、佐倉市役所・オカムラホーム・本校の三者で情報・意見交換会を開催した。

① 佐倉市観光グランドデザイン「観光Wコア構想」プレゼンテーション 佐倉市役所

② 株式会社オカムラホームのSDGsの取組

③ 「風見鶏の里」設立の経緯と現状

④ 「風見鶏の里」見学

古民家及び納屋などの関連施設、敷地・竹山等すべてをリノベーション

- ⑤ 意見交換会 オカムラホーム・市役所・本校生徒が2グループに分かれ、広範なテーマで1時間にわたり活発な意見交換がおこなわれる。



### (B) 「佐倉を考える」～佐倉市役所とのワークショップ～

目的 佐倉市役所の担当者を招いて、佐倉市の諸課題を語り合うことにより、課題研究の新たな知見を得る。

日時 10月1日(木) 午前9時30分から午前11時30分

会場 本校 地域交流施設研修室

対象 1・2年次生徒希望者 (計30名程度)

【3つのワークショップテーマ】

- ① 佐倉市の観光施策
- ② リノベーションまちづくり 遊休不動産や公共空間を活用した新しい手法のまちづくり
- ③ 佐倉市の主要な課題について



### (C) 生徒課題研究「献血を広めよう」の献血イベント

日時 10月1日(木)

実施事業者 千葉県赤十字献血センター

場所 本校 地域交流施設

対象 生徒・保護者・御家族の皆様(16歳以上)

案内文書に掲載した『生徒からのメッセージ』

皆さんは16歳から献血ができることを知っていますか。実は私達も知りませんでした。それもそのはず、献血については学ぶ機会が少ないので当然のことです。しかし、知らないままでは勿体無いです。献血は採血するだけで、人命を支えることが出来る素敵なボランティアです。確

かに腕に針を刺すのは怖いですが、その怖さを乗り越えれば献血の良さが身を持ってわかると思います。この機会に是非、皆さんにも献血して欲しいです。また保護者の皆さまや教職員の方々にもよければ献血して頂きたいです。ご協力よろしくお願いします。



#### (D) 佐倉市新町の夢の図書館 意見交換会

目的 建設予定の図書館に高校生のアイデアを盛り込むためのワークショップを、千葉大学・佐倉市役所・本校で共催し、建設計画に活かす。

日時 12月10日(木) 15:30～16:45

会場 本校地域交流施設

参加者 佐倉市役所担当者(3名) 設計事務所(2名)

千葉大(柳澤教授・工学部建築学+学生8名)

本校生徒 10名

内容 大学生と高校生が混じった三つのグループを編成し、大学生のリードのもと自由にアイデアを出しあう。アイデアは模造紙に整理し発表する。

